間質性肺炎急性増悪における FilmArray 呼吸器パネル陽性例の臨床的検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡ください。

研究の目的と方法

間質性肺炎急性増悪は、間質性肺炎の経過中に急に呼吸状態が悪くなる重篤な病態です。原因の一つとして呼吸器ウイルスなどの感染が関係する可能性がありますが、病原体が検出された患者さんの特徴や治療経過は十分に分かっていません。本研究では、FilmArray 呼吸器パネル 2.1 検査で病原体が検出された患者さんの症状、検査結果、画像所見、治療内容、経過を調べます。

研究の対象となる方

2021 年 1 月から 2026 年 3 月までに、当院で間質性肺炎急性増悪のため入院し、入院時の FilmArray 呼吸器パネル 2.1 検査で病原体が検出された方を対象とします。

使用する試料・情報

本研究では通常診療で得られた診療情報のみを使用し新たな試料は使用しません。使用する主な情報は、年齢、性別、BMI、喫煙歴、既往歴、在宅酸素療法の有無、症状、入院時酸素投与の有無、血液検査所見、画像所見、FilmArray 検査内容、検出病原体、抗菌薬使用、全身性ステロイド使用、入院期間です。
使用開始予定日：2026 年 10 月 16 日

研究予定期間

2026 年 10 月 16 日～2027 年 4 月 30 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者 ID などの個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付して管理します。患者 ID と研究用 ID の対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果を学会等で発表する予定ですが、個人が特定されることはありません。
［研究情報管理責任者］呼吸器内科　　斉藤漸太郎
［個人情報管理責任者］院長　　中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先	済生会熊本病院　呼吸器内科　斉藤漸太郎 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号　電話：096-351-8000（代表）